

1. インド洋 2. 太平洋 3. 北極海 4. 大西洋

1. 急速な工業化が進み、工場排水が
土壌に浸透して植物が育たない環境
になったため

2. 急激な人口増加に伴い、生活のた
めの過放牧や、燃料となる樹木の過
剰な採取が行われたため

3. 鉱山資源の採掘のために大量の地
下水を汲み上げ、地下水位が大幅に
低下したため

4. 大規模な森林伐採が進み、輸出用
の木材を確保するために土地がむき
出しになったため

1. 独立時にすべての国が急速な工業化を目指した結果、都市部と農村部の経済格差が広がり、特定の部族が富を独占する仕組みが作られたため。
2. アフリカ諸国の首脳たちが独立後の団結を深めるために、あえて複数の民族が混在するように自ら国境線を設定し直したため。
3. 広大なサハラ砂漠の拡大によって居住可能な土地が減少したため、水資源をめぐる宗教の異なる民族同士が衝突するようになったため。
4. かつての宗主国であったヨーロッパ諸国が、現地の民族分布や文化的なまとまりを無視して、経線や緯線を用いた人工的な国境線を引いたため。

1. 東アフリカや南アフリカの国々は、かつてフランスの植民地であったため、現在はフランス語が公用語の主流である
2. 21世紀以降、経済発展を目的としてアフリカ全土の国々がフランス語から英語へと公用語を変更した
3. 19世紀以降の植民地支配の影響により、西アフリカやマダガスカルでは現在もフランス語が公用語として使われている
4. アフリカ大陸の全域で、19世紀から現在に至るまでアラビア語が唯一の公用語として統一されている

1. 生活用水の確保を優先するため、農作物の栽培が一切行われなくなり、すべての食料を輸入に頼るようになる。
2. 水が不足することで、水力発電に頼りすぎる社会構造となり、工業化が極端に進展する要因となる。
3. 不衛生な水の利用により、下痢やコレラなどの感染症が広がりやすく、乳幼児の死亡率が高まる原因となる。
4. 水汲み労働が不要になることで、子供たちが学校に通う時間が大幅に増え、識字率が急激に上昇する。

1. 工業製品の輸出割合が高いため、国際的な原料価格の変動による影響を受けにくい。

2. 国内の消費だけで経済が完結しているため、輸出価格の変動が国内総生産に影響することはない。

3. 特定の一次産品の国際価格が下落すると、輸出額が減少し、国内総生産に大きな影響を及ぼす。

4. 一次産品は国際市場で常に高値で安定して取引されるため、国内総生産は毎年確実に増加する。

1. 工業製品の輸出を主とする加工貿易であり、輸入する原材料の価格高騰によって製品の国際競争力が低下している。
2. 希少な鉱産資源の輸出のみに依存する資源依存型経済であり、資源が枯渇すると将来的に経済が立ち行かなくなる。
3. 特定の農産物の輸出に依存するモノカルチャー経済であり、天候や国際価格の変動が国の経済に大きな影響を及ぼしやすいため。
4. 国内の消費を自国の生産でまかなう自給自足経済であり、国際社会の経済変動による影響をほとんど受けない。

1. 主に装飾品としての価値が高く、金や銀と同様に資産としての保有が主な目的であり、工業用としての需要はほとんどない。	2. 世界中のどの地域からも均等に産出されるため、特定の国からの輸入に頼る必要がなく、供給が常に安定している。	3. 鉄や銅などのベースメタルと比較して抽出が非常に容易であるため、安価で大量に流通している。	4. 産地が限定されているため、産出国の政情不安や輸出制限が、世界の工業製品の生産に大きな影響を及ぼすリスクがある。
---	---	---	--

1. 主要な輸出資源である化石燃料の枯渇による、国家経済の破綻

1. 特定の品目の国際的な取引価格が変動することで、国全体の収入が大きな影響を受け、経済状況が不安定になりやすい点。
2. 輸出先が近隣の特定の国に限定されているため、周辺諸国との外交関係が悪化すると輸出が完全に停止してしまう点
3. 先進国から原材料を輸入して国内で製品を組み立てる加工貿易を行っているため、燃料価格の高騰が製造コストに影響する点。
4. 特定の農産物のみを栽培することで、国内の食料自給率が極端に上昇し、工業化が遅れてしまう点。

1. 南アフリカ共和国 2. ナイジェリア 3. エジプト 4. ケニア